



# 7月のほけんだよ!

令和3年

看護師 松浦

梅雨が明けても湿度の多い空気が、体にまとわりつきますが、子ども達は水遊びやシャワーでさっぱりとした状態で、お昼寝に入ることができ安心ですね。

乳児クラスの発熱・咳・下痢の症状のお子さまが多かったようです。RSウイルスが急増しているというニュースはお聞きになっていると思いますが、去年はほとんど流行のなかったRSウイルスの免疫を持たないため、感染が拡大しているということだそうです。

引き続き、感染症拡大防止対策を取りながら保育園生活を送っていきたいと思います。

## ～夏に多い感染症～

ウイルス感染によって起こる病気です。感染力が強く感染が広がってしまうことを避けるため、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。昨年度はほとんど見られなかった感染症ですが、今年度は流行が予想されています。十分お気を付けください。

### ヘルパンギーナ

突然の高熱とのどの痛み、口の中の水ほう・口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日位で解熱。

### 手足口病

手のひら、足の裏、口の中に水ほうができ、発熱することもあります。食事はのど越しの良いものを食べましょう。

### プール熱(咽頭結膜熱)

プールで感染することもあり、高熱が3～5日位続き、のどの痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎の症状も出ます。

### 流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるため、タオルは共有しません。



プール熱(咽頭結膜熱)・流行性角結膜炎には治療証明書が必要です

## 誤嚥による窒息事故

今月に入り2件のパンの誤嚥による窒息事故がニュースになりました。1才9ヶ月保育園児と小学5年生の児童が事故にあっています。

このような事故を防ぐには、乳児の食事は、必ず大人の見守りの中で安全に食べることが大切です。また幼児には繰り返し、危険な食べ方をしないこと、その行為が事故につながることを教えていくことが必要でしょう。

4歳まで丸い形状の食べ物(ミニトマト・ぶどう)は半分ではなく、4等分にすることが、事故を防ぐことになるそうです。保育園でも十分注意し食事介助にあたっていきます



NPO法人 Safe Kids Japan より

## 口の動きと言葉の発達

マスク生活が続き、言葉の発達に大切な、口の動きが見えない時間が増えているコロナ禍です。

乳児が言葉を獲得していく過程には、大人の表情と共に口元を見て、声を聞きながら動きを真似ていくことは欠かせません。保育園で保育者の口元が見える透明マスクの着用時間は、乳児の給食の介助時の短い時間です。

乳児クラスのお子さまには、ご家庭ではマスクを外し表情豊かに、意識的に声を掛ける機会を持って頂きたいと思います。



7月に入って、都内の保育園で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しています。園医からの情報によりますと、デルタ株は乳児・幼児にも感染し、重症化症例もあるということです。手洗いと換気に努めていきましょう。